

平成27年度 第4回 宇都宮市自転車のまち推進協議会

日 時 平成28年3月15日（火）午前10時00分から正午まで

場 所 宇都宮市災害対策本部室

出席者 別紙名簿参照

内 容 1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 「宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画」(案)に係る
パブリックコメントの結果について

(2) 平成28年度の主な検討項目について

4 講話

・「2016ペロシティについて」

宇都宮共和大学 シティライフ学部教授 古池 弘隆 氏

・「北米における自転車先進都市について」

株式会社三井住友トラスト基礎研究所 研究理事 古倉 宗治 氏

5 閉会

【主な発言・意見】

議事【パブリックコメントの結果について】

<古池会長>

- ・資料3.(2)イの、「LRTに自転車専用の車両又は車両の一部を連結させてほしい」という意見に関して、自転車専用の車両を1両分連結するなど、試験的に進めてはどうか。また、アメリカではバスの前にラックを取りつけることが法律で定められており、自転車を利用しやすい環境づくりが進められているため、参考にしてはどうか。
- ・(2)ウの「JR西口新幹線高架下駐輪場の閉場時間を、22時から24時に延長してほしい」という意見に関しては、22時以降も電車が運行しており、22時以降の駐輪場の利用も見込まれることから、閉場時間を延長させることは効果的な方法であると考ええる。
- ・今後の東口の再開発に伴い、「JR宇都宮駅東口第二駐輪場への上屋の設置」も検討してみてもどうか。

<事務局>

- ・現在、南側にある第二駐輪場は暫定的な整備であり、上屋がないことから、今後東口の再開発に伴い上屋の設置なども検討していきたい。

(2)【平成28年度の主な検討項目について】

<柿沼委員>

- ・自転車のまちのPRにあたり「自転車の日」を設定することは、市民意識の醸成につながり非常に効果的であると考えられることから、今後も「自転車の日」の設定に向けて、関係機関と調整を図り検討を進めていただきたい。

<古池会長>

- ・「自転車の日」の設定にあたっては、自転車からの観点だけではなく公共交通との連携が必要不可欠であることから、「ノーマイカーデー」などと組み合わせてみてはどうか。

<古倉アドバイザー>

- ・「自転車の日」の設定にあたっては、国の動向も踏まえながら自転車関連企業との連携のあり方についても検討を進めていただきたい。
- ・自転車通勤の推進にあたっては、先だって市の職員がモニター事業の対象者となり、自転車利用による健康増進への効果を市民に対して広くPRしていく必要があると考える。
- ・豊橋市で行ったアンケート調査において、自動車通勤と自転車通勤の通勤時における100人あたりの事故率に関しては、自動車が3.2人であり自転車が1.6人であることから、自転車の方が事故の割合が低いため、自転車の安全性もPRしていく必要があると考える。

<古池会長>

- ・モニター事業に関しては、豊橋市役所のように職員が先だってモニター対象者になることが重要であるとする。モニター事業にあたっては、全庁的に始めるのは難しいことから、有志を募って対象者を探し出してはどうか。
- ・自転車利用の促進にあたっては、通勤手当の引き上げなども検討材料の一つであるとする。

<古池会長>

- ・ジャパンカップサイクルロードレースの開催及び周辺環境を充実させるため、案内誘導のサインや路面標示の設置を進めていく中で、サイクリストとの意見交換を十分に図り、効果的なルートを設定していただきたい。

<柿沼委員>

- ・案内誘導のサインや路面標示の設置を進めていく中で、サイクリストとの意見交換は有効な手段であると考え、クラブチームにも声をかけていただきたい。

<加藤委員>

- ・ジャパンカップサイクルロードレースの周辺環境の充実にあたり、現況では駐車できる箇所やスペースが限られており、自転車を利用しやすい環境整備がなされていないことから、まずは駐輪環境整備に取り組んでいただきたい。

<事務局>

- ・ジャパンカップは独自の地域資源であり今後も開催していく予定であるため、自転車利用者の快適な空間整備は重要であることから参考とさせていただく。

<斉藤委員>

- ・「中央1丁目市営駐車場」や「中央小北市営駐車場」などの利用率が低い原因として、駐輪場が地下にあるなど、暗く利用しにくい環境であることが考えられるため、止めるスペースを確保するだけでなく、駐輪場を整備する場所も重要であると考え。
- ・仙台市などでは商店街を自転車で通行する場合、自転車を押して歩く傾向にある中、宇都宮市では商店街の中を自転車に乗ったまま走行する人が多く見受けられ危険であることから、自転車を「押して歩く」という意識づけを目的として、空きスペースを効果的に活用し駐輪場を整備してはどうか。

<古池会長>

- ・日本の有名な商店街は「押しチャリ」が基本である中、オリオン通りは自転車に乗ったまま高速で通行する自転車が数多く見受けられるため、商店街などと連携を図り、今後対策を考えていただきたい。
- ・駐輪場をより多くの市民に利用していただくために、どこに駐輪場が整備されているかを市民に対して発信してはどうか。

<事務局>

- ・違法駐輪の方にアンケートを行うと、街中の駐輪場は3割程度しか把握していないという方もいることから、まずは駐輪場の位置を市民に把握していただく必要があることから現場に立って周知活動を行っていく必要があると考えている。また、商店街の近くに駐輪場を整備してほしいという市民のニーズがあるため、商店街と連携を図り、検討を進めていきたいと考えている。

<古倉アドバイザー>

- ・以前、姫路で行ったアンケートにおいて、「押しチャリ」を我慢できる距離について質問したところ、79%の人が100m以下なら我慢できるという結果となり、50m以内に駐輪場を整備してほしいという意見も多かった。

<古池会長>

- ・駐輪場の整備にあたっては、市民ニーズである店舗近くへの駐輪場整備が可能となるように、今後も検討を進めていただきたい。

<古池会長>

- ・資料4の検討項目以外の話となるが、来年度からの評価項目の中に、ルール・マナーの向上のためのヘルメット着用の促進が設定されている中で、3年間ヘルメットをかぶり続けてきた中学3年生が、高校に入学してからもヘルメットをかぶりつづけるのかどうか、今後も注目していきたいと考えている。

<古倉アドバイザー>

- ・ヘルメット着用の促進にあたっては、デザインやスタイルも重要であると考えている。

<古池会長>

- ・最近では、ヘルメットのデザインを選択できる学校もあり、着用率が上がってきているため、今後も検討を進めていただきたいと考えている。

<事務局>

- ・長時間にわたり、貴重なご意見ありがとうございました。本日いただいた意見を踏まえながら、今後も検討を進めていく。